



猪苗代町産の米粉などを使ったシフォンケーキ

福大生「いなわシフォン」を開発

福大×猪苗代地ビール館×猪苗代町がコラボ

福島大の3年生が開発したシフォンケーキ「いなわシフォン」が11月4日から猪苗代地ビール館で発売されました。本町と同大学の連携事業の一環で、地ビール館の協力を得て、学生が発案・開発・広報を行いました。「いなわシフォン」は「いなわしろ天のつぶ」の米粉を100%使用。ソースには本町のいちごとブルーベリーが使われています。12月29日まで販売する予定で、価格は500円(税込み)です。

優れた医学研究をたたえて

野口英世記念医学賞授賞式

細菌やウイルスなどの優れた医学研究を顕彰する第67回野口英世記念医学賞授賞式は11月16日、野口英世記念感染症ミュージアムで行われ、筑波大学医学医療系教授で医学博士の澁谷彰氏の功績をたたえました。受賞研究は「免疫、炎症疾患の制御を目指した免疫受容体の研究」です。澁谷氏は、新しい免疫受容体を次々と発見し、感染症やがん、アレルギー、炎症などの発症を防いだり促進したりする働きがあることを解明しました。



野口英世記念会の倉根一郎理事長から賞状を受ける澁谷さん(中央)



作文コンクール・中学校の部で最優秀賞を受賞し作文を朗読する野口さん



少年科学賞・小学校の部で最優秀賞を受賞した鈴木さん(左)

小中学生の栄誉をたたえる

野口英世博士顕彰記念授賞式

第63回野口英世博士顕彰記念作文コンクールと第30回野口英世博士少年科学賞の授賞式は11月9日、野口英世記念感染症ミュージアムで行われ、各賞を受賞した小中学生の栄誉をたたえました。同コンクールは野口英世博士の誕生日である11月9日に毎年行われています。

各賞の受賞者は次のとおりです(敬称略)。

【作文コンクール】

◇小学校の部 ▶特選=鶴川聖姫愛(猪苗代小4年) ▶金賞=諏訪奏太郎(猪苗代第二小4年) ▶銀賞=松本凛太郎(猪苗代小4年)、古川彩乃(猪苗代第二小4年)

◇中学校の部 ▶特選=野口大和(猪苗代中2年) ▶金賞=村澤寿々(猪苗代中2年) ▶銀賞=橋本沙樹(猪苗代中2年)

【少年科学賞】

◇小学校の部 ▶最優秀賞=鈴木創介(猪苗代第二小6年) ▶優秀賞=佐藤菜月(猪苗代第二小1年)、鈴木美優(猪苗代小2年)、浅川結梨(猪苗代第二小3年)、宗像朔矢(猪苗代第二小4年)、坂本陸仁(猪苗代第二小5年)、坂本隆仁(猪苗代第二小3年)

◇中学校の部 ▶最優秀賞=該当なし ▶優秀賞=該当なし



家では祖父が打つそばを食べるといふ小椋山太志さん(祐次)。

Pick Up

今月のイベント

猪苗代の新そばを堪能



物産市では地元の農産物が大好評

第28回猪苗代新そば祭りは11月9、10の両日、カメリーナで開かれ、訪れたお客さんが香り高い猪苗代の新そばを心ゆくまで味わいました。会場での開催は5年ぶり、2日間で約1600食を提供。そばは「もりそば」と「祝言そば」の2種類で、エビやマイタケなどの天ぷらも用意されました。会場内では、猪苗代手打ちそばの会と猪苗代高校の生徒によるそば打ちの実演のほか、ステージアトラクションとして日本舞踊や猪苗代そば口上などが披露されました。また、同校の生徒はボランティアとしても参加し、来場者をもてなしました。会場の外では、町内で生産された野菜や加工品、うつくしま蕎麦王国協議会による高遠そばなども販売され、それらを買求めるお客さんにぎわいました。

今月の表紙



【撮影日】 11月25日
【撮影場所】 猪苗代中学校

滋賀県で開催される全国中学校駅伝大会に初めて出場する猪苗代中駅伝部の男子メンバー。12月15日、「中学校駅伝の聖地」を駆け抜けます。(関連7ページ)

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 猪苗代町自治功労者表彰式
- 05 第36回ふくしま駅伝
- 06 スクールトピックス/地域おこし協力隊通信
- 07 第32回全国中学校駅伝大会
- 08 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー

公式 SNS



LINE



マチを好きになるアプリ



ios 用



Android 用